

むつ市小川町に完成した八戸学院大
むつ下北キャンパス



八学大むつ下北キャンパスお披露目会

看護学科特化、実習室も



ベッドなどを備えた実習室



オンライン授業に対応した講義室

むつ

八戸学院大は27日、むつ市小川町に開設する、むつ下北キャンパスのお披露目会を実施した。健康医療学部看護学科に特化したキャンパスとして、下北地域の保健医療や健康増進などに貢献する看護の実践者の育成を目指す。初年

度は11人が入学予定で、4月8日から真新しいキャンパスで勉学に励む。

キャンパスには、オンライン授業に対応した講義室や、ベッドなどを備えた実習室などが並ぶ。基本的に八戸市のキャンパスと時間割は同じ。週2回は八戸市にバスで通い、技術習得のための対面講義を受け、その他は、オンラインで講義に参加する。

むつ下北キャンパス長の木村緑教授は「積極的に現場に出て、下北圏域の実情を知り、地域で学ぶ教育を推進していきたい」と述べた。

入学予定の笹森小夏さん（18）は「とてもきれいで、大きすぎなくて落ち着くキャンパス。学費や勉強の面でも自宅から通えるのは大きい。大学生活はまだ想像できないが、楽しみたい」と笑顔で話した。

（佐藤航）